

-----5月11日-----

2020年

※ 今週のアウトルック (5/11~5/15)

先週前半はやや円高、後半は持ち直しの動きとなりました。
週末に発表された米国雇用統計は14.7%と非常に悪い数字でしたが、予想されていた16%よりは良く、また平均時給の改善も好感されたようです。

今週は米国雇用統計の結果に対する解釈がどのように広まるのか、
まずは注目したいところだと思います。

先週のドル円は、水曜日、木曜日と106円以下を狙う動きが活発化しましたが、
割ることができずに週末をむかえ、予想よりも良い米国雇用統計の結果を受けて
106円台後半まで上昇してそのままNY市場を終了しています。

今週はこの雇用統計の結果が、各市場でどのように解釈されていくのかが
まずは注目されますが、今回の雇用統計の数字は統計上にまだ反映されていない
失業者も多く、実際には20%近いのではないかという報道も流れています。
こういった報道を市場がどう解釈するのか、まずは週初めの動きに注目したい所です。

ドル円の予想レンジは105円から108円です。

先週のユーロ円は、水曜日、木曜日と114円台に入りました。
このまま、下降トレンド入りしてしまうかのようにも見えましたが、週末の米国雇用統計が
予想よりも良かったことを受けて、115円台まで戻してそのまま終了しています。

今週は再び115円割れを狙う動きが再び活発化するかどうかはまずは注目されますが、
活発化する可能性がいささか高いようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは112円から118円です。

ポンド円はなんとか130円以上を保っている状況です。
今週、130円を割るようなことがあれば、125円付近までの下落は避けられない
かもしれません。

ポンド円の予想レンジは125円から136円です。

米国雇用統計が予想よりも良かったことを受けて、このままリスクオンへと向かいたい
ところですが、コロナ肺炎終息の見込みが遠のいてしまった場合には、再びリスクオフ
モード全開となる可能性もあるように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。